

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	路上喫煙等防止事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	条例違反者（路上喫煙、ポイ捨て、犬ふん放置）	意図	まちの美化のため
事業内容	重点区域を中心に、指導員により啓発指導を行うとともに、ホームページ、広報への記事の掲載及び防止キャンペーンによる周知活動を行うことにより、重点区域での路上喫煙及びポイ捨ての防止を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年に「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例」を制定した。その後、平成28年2月に「路上喫煙防止重点区域」を3か所追加し、平成30年2月に「路上喫煙防止重点区域」の範囲を拡大し、合計6カ所の駅周辺とした。平成30年4月には条例を改正し、直接罰による過料徴収を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	路上喫煙防止指導件数	434	382	251	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

重点区域において、早朝や夜間の時間帯にパトロールを実施し、路上喫煙者については、直ちに2,000円の過料を徴収している。パトロールや広報活動により、違反者への指導件数が毎年減少してきており、確実な効果が表れている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,129,951	10,982,129	12,435,926
事業費(b)(円)	1,059,451	3,034,029	7,162,326
うち一般財源	1,059,451	3,034,029	7,162,326
職員給与と費(c)(円)	8,070,500	7,948,100	5,273,600
人役・職員(人)	0.80	0.80	0.80
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.50	1.50	
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	重点区域において、人出が多い流山おおたかの森駅周辺と南流山駅周辺を重点に、パトロールを実施。	③取組における課題(Check)	路上喫煙等指導員が現在3名で、全域を担当するため、流山おおたかの森駅周辺と南流山駅周辺以外の重点区域の、パトロールが手薄になる。
②H30に実施した取組(Do)	市内6カ所の重点区域において、多くの人が集散する時間帯である早朝や夜間のパトロールによる取り締まりを実施。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	パトロール計画の検討。